

Zen v14 SP2 既知の問題

一般リリース – 2021 年 2 月

Zen v14 SP2 (build 14.20.012) には、リリース時に以下の既知の問題がありました。以前のリリースと比較して修正された不具合および機能強化については、エージーテック [Web サイト](#) で Zen v14 SP2 修正履歴を参照してください。

また、Zen の今回のリリースや以前のリリースのリリース ノート、および修正プログラムのリリース ノートをご覧になり、広範な修正や機能強化を確認されることをお勧めします。いくつかは、ここに記載されている問題に対処している可能性があります。

問題はそれぞれ、次の各見出しセクションに一覧表示されています。一覧に挙げる問題は、最新のものから古いものの順に示します。

- [クライアント リクエスター / 通信](#)
 - [インストール](#)
 - [MicroKernel エンジン](#)
 - [SQL および Reporting Engine](#)
- [各種ユーティリティ](#)
 - [Unicode](#)
 - [Btrieve2](#)
 - [Zen Data Access Components \(旧称 PDAC\)](#)

クライアント リクエスター / 通信

追跡番号	説明
PSQL-5102	クライアントとサーバー間の通信セッションが有効でなくなった場合に、ステータス 95 ではなくステータス 170 が返されます。

インストール

追跡番号	説明
PSQL-8399	Client Reporting Engine をアップグレードすると、自動再接続タイムアウト値がデフォルト値にリセットされます。
PSQL-5556	以前に別の PSQL エディションをインストールし、ライセンスの認証を解除しないでアンインストールした非常に高速なマシンでインストールを実行した場合、そのマシンにライセンスが適用されると、インストールが応答しなくなることがあります。それでも PSQL は正常にインストールされるので、License Administrator ユーティリティを使用してライセンスを認証することができます。
PSQL-5131	128 バイトより長いインストール先パスを使用してインストールを行うと、MicroKernel が起動しなくなります。

MicroKernel エンジン

追跡番号	説明
PSQL-5109	クライアントによって排他モードで開かれたファイルのロール フォワードは、エラー 88 で失敗します。
PSQL-5107	Windows 2008 以降のバージョンで 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85 (ファイルはロックされている) になります。2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85 (ファイル ロック) になります。たとえば、このステータス コードが予想されるのは、1 つのアプリケーションが次のファイルを開き、 C:\ProgramData\Actian\Zen\Demodata\Class.mkd 別のアプリケーションが次のファイルを開いた場合です。 C:\Users\All Users\Pervasive Software\PSQL\Demodata\Class.mkd 回避策：両方のアプリケーションで同じパスを使用してファイルを開きます。
PSQL-5022	読み取り専用の仮想ディスクにあるファイルに対して Btrieve の Update オペレーションを実行すると、予想されるステータス 43 ではなくステータス 94 が返されることがあります。
PSQL-4662	キーを削除した直後にファイルを最適化しようとする、ステータス 125 が返されることがあります。

SQL および Reporting Engine

追跡番号	説明
PSQL-5515	Reporting Engine に接続されているクライアントは、ストレージ エンジン を停止して再起動した場合、データにアクセスできません。
PSQL-5116	異なるエンコードのクロス データベースから引き出されたデータは破損しています。
PSQL-5111	ビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。
PSQL-4980	古い 3.x 形式の DDF から一部のインデックス定義が正しくエクスポートされないことがあります。
PSQL-3907	同じ名前の列がある複数のテーブルにアクセスするクエリで、その列のエイリアスがクエリに指定されていないと、正しくない結果になる場合があります。

各種ユーティリティ

追跡番号	説明
PSQL-8437	butil -recover または -save コマンドは、大きな可変長レコードに対してステータス 22 を返すことがあります。
PSQL-5135	DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。
PSQL-5133	DDF Builder では、国際化 ソート規則 (ISR) を使用するファイルのテーブル定義を作成できません。DDF Builder は現在、警告を発生しません。 データ ファイルが ISR を使用しているかどうかを判断する場合、キーに ACS フラグの 1 つがあるときは、その ACS の 265 バイトを調べます。 <ul style="list-style-type: none"> 識別バイトが 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 識別バイトが 0xAD の場合は、ロケール固有の ACS です。 識別バイトが 0xAE の場合は、ISR です。

追跡番号	説明
PSQL-5132	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナー ネームが提供されても " 不正なオーナー ネーム " メッセージを返すことがあります。 回避策 : オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
PSQL-5130	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
PSQL-5129	PCC で、保護されたデータベースの [バウンド] プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。
PSQL-5126	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
PSQL-5123	Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。
PSQL-5122	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作しても何度も要求します。
PSQL-5119	bcfg の [最小の状態に戻す待ち時間] の範囲の説明が間違っています。
PSQL-5118	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。

Unicode

追跡番号	説明
PSQL-5805	アプリケーションが ICU (International Components for Unicode) 照合順序のファイルを読み取ろうとした場合、キャッシュ エンジンにステータス 135 " 指定された国際的なソート規則 (ISR) テーブルは破損しているか、または不正です " を返します。

ソフトウェア開発キット (SDK)

Btrieve2

追跡番号	説明
PSQL-6256	FileCreate() では、作成操作に 1 つの単一セグメント キーしか含めることができません。複数セグメント キーや追加キーが必要な場合は、IndexCreate() を使用して追加する必要があります。

Zen Data Access Components (旧称 PDAC)

追跡番号	説明
PSQL-7385	64 ビットの PDAC アプリケーションが PvTable を使用してテーブルを開くと、ステータス 3012 が返されることがあります。 回避策 : 64 ビット エンジン (クライアントと同じバージョン) インストールの w64csi.dll をクライアント インストールにコピーし、クライアントでプロンプトを開いて regsvr32 w64csi.dll を実行します。